

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 22週

集計期間 5/26-6/1

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症														
咽頭結膜熱			4	1	1									6
溶連菌感染症						1		5	3					9
感染性胃腸炎		2	2	6	14	10	2	5	4	7	4	5	1	62
水痘		1	3	7	4	2	4	1						22
手足口病														
伝染性紅斑									1	1				2
突発性発疹		1	3											4
百日咳														
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎							1							1
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ												1		1
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu														
						小児科定点総数 107	増減 -20		前週比	84.3%				定点当たり 17.8
										病院:開業医 4:103				増減 0:-20
内科Flu														
							インフルエンザ総数	増減 -1	前週比	0%				定点当たり
														増減 -1:0
														小児科:内科 0:0

総数107、前週の84.3%と、減少です。

首位は、感染性胃腸炎、前週比81.6%、定点当たり10.3と、減少です。

2位は、水痘、前週比169%、定点当たり3.7と、大幅増加です。

3位は、溶連菌感染症、前週比36%、定点当たり1.5と、約1/3です。

4位は、咽頭結膜熱、前週比120%、定点当たり1.0と増加です。

以下は、全て、定点当たり1未満で少数ですが、

伝染性紅斑が2名、報告されています。

インフルエンザは、0名になりました。

内科も含むインフルエンザ、やっと、完全に0になりました。

例年24週、6月半ばを過ぎると、手足口病、ヘルパンギーナが流行開始しますので、夏の感染症の前のひとときのお休みになっています。